

保存修理業務仕様書

1 業務名称

福山市指定重要文化財朝鮮通信使関係資料保存修理業務委託

2 保存修理対象

福山市鞆の浦歴史民俗資料館蔵 市指定重要文化財朝鮮通信使関係史料

紙本著色石摺貼付「鞆浦図并韓使応接図対潮楼石摺」屏風（左隻 鞆浦図対潮楼石摺屏風）

3 員 数

六曲半双（一隻）

4 法量

(1)全体（椽含む） 高さ 約 176 cm 幅約 62 cm×6面 厚さ 2 cm

(2)本紙寸法 高さ 約 161 cm 幅約 60.5 cm×6枚

5 品質

椽…黒漆塗、本紙…紙本黒画淡彩、裏貼…唐紙（雪紋に竹）、拓本

6 破損・劣化状況

- ・屏風廻りの椽が傷んでいる。
- ・蝶番部分が破損している。
- ・本紙、本紙まわりの紙の部分に部分的にシミ、虫食いが生じ、所々欠損している。
- ・屏風裏の唐紙に破れ剥がれ、破損が生じている。
- ・屏風全体が劣化している。
- ・屏風を収納する箱が破損している。

7 修理方針

- (1)屏風を解装し、本紙の劣化した付け回し、裏打ち紙を肌裏まで除去し、本紙をフィルターでろ過した水で加湿し洗浄する。
- (2)本紙欠損か所に繕いをする。また、必要に応じて折れ伏せを施す。
- (3)屏風裏の唐紙は使用できないため、唐紙か正絹絨裂地を新調して貼り込む。
- (4)椽、木枠、下地を現況の形状に合わせて新調する。

8 修理仕様

- (1)本紙を修復前に写真撮影し記録する。
- (2)古い椽を外す。
- (3)本紙下地から慎重に剥がす。
- (4)剥がした本紙修理

古い裏打紙の除去をし、裏打を美濃紙などで2～3回施す。

下地組子の調整と下張りの作業手順

- (1) 骨縛り
- (2) 胴張り
- (3) 蓑張り (三重蓑)
- (4) 蓑縛り
- (5) 六枚の下地を合わせ削る
- (6) 六枚の下地の蝶番を組む
- (7) 下浮きをかける
- (8) 上浮きをかける
- (9) 上縛り
- (10) 本紙を貼る
- (11) 補彩 (虫食い部分など)
- (12) 椽打ち 完成

9 注意事項

- ・石摺の貼付位置は元の位置に合わせる
- ・除去した裏打紙は、別途保存し返却すること
- ・交換した椽、唐紙は破棄すること

10 納入場所と納入期限

- (1) 納入場所 福山市鞆の浦歴史民俗資料館 (福山市鞆町後地 536-1)
- (2) 納入期限 2025年(令和7年)3月31日

11 その他

- (1) 保存修理に当たっては、発注者及び監修者の指示に則り実施をすること。
- (2) 保存修理に当たって、不明な点がある場合は、発注者及び監修者と協議すること。
- (3) 防犯・防災に十分注意をし、文化財の取扱いを厳格な管理体制の元で行うこと。
- (4) 保存修理の過程を細かく記録と写真に残し、保存修理の完了後は報告書を提出する。
- (5) 保存修理に当たって、疑義がある場合は、発注者と受注者で協議を行い、別途双方の合意に基づいて解決策を定める。



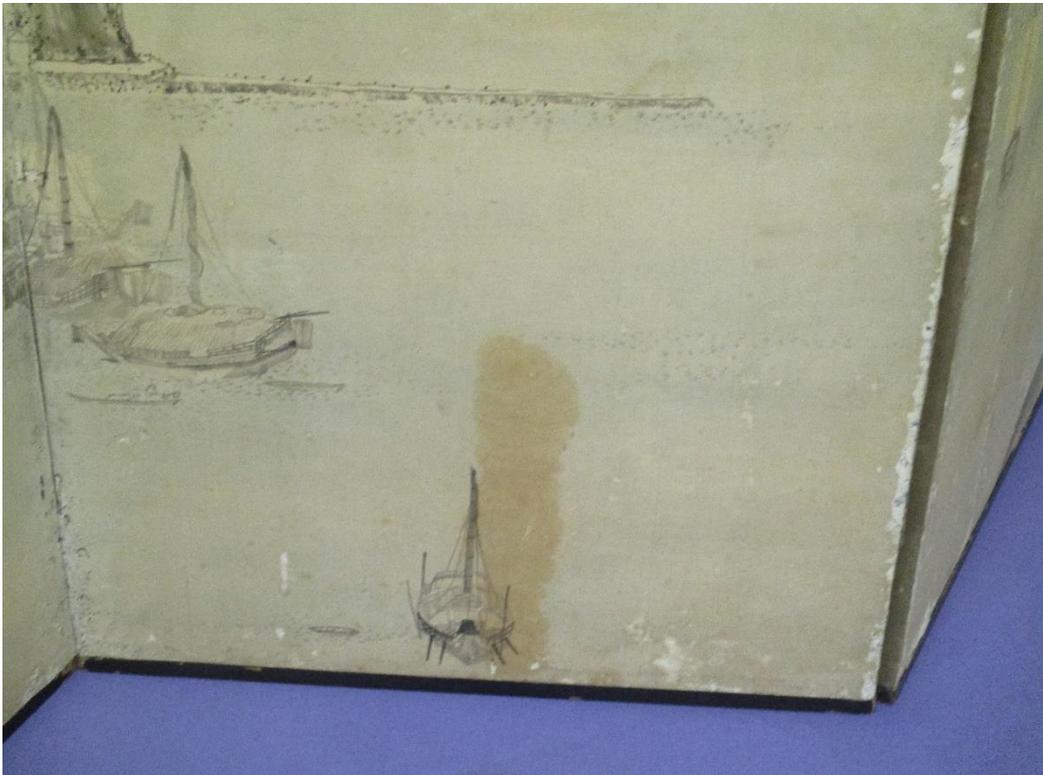
「靛浦図并韓使応接図対潮楼石摺」屏風（左隻）



劣化状況



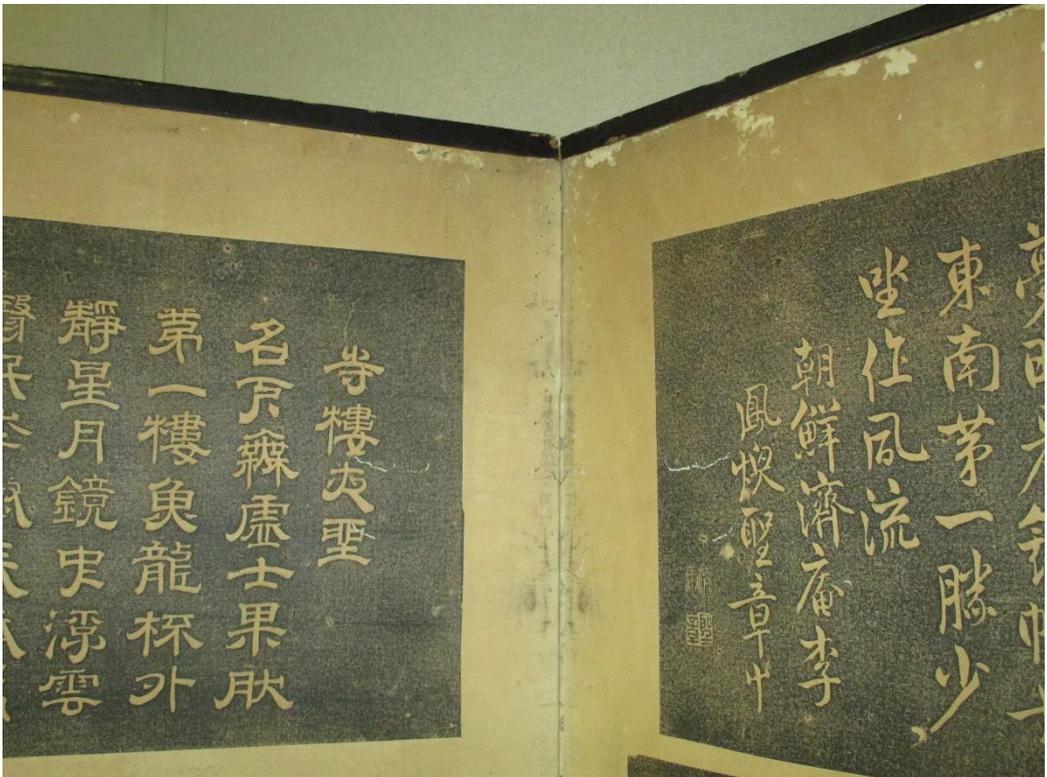
劣化状況



劣化状況



劣化狀況



拓本部分